

㉔ 佐渡市では議会とも協力して佐渡空港の問題に取り組んでいると聞いています。佐渡にとってなくてはならない飛行場です。いろいろな問題もあるとは思いますが、飛行場ができるよう努力していただきたい。

㉕ 飛行場の問題については、いろいろな方からご意見、ご要望をいただきます。また新聞等での情報が先行して、市民の皆さまにうまく情報が伝わらないことも見受けられます。佐渡空港は長年の悲願でもありました。飛行場は財政圧迫に繋がると言われる方もおられますが、企業誘致にあたっては、安定した物資輸送手段の確保が必要で、冬期間に欠航のある航路だけでは不十分と言われていきます。また医師の確保も重要で、現在市内に麻酔医がいなかったために大きな手術は、島外からの手配が必要です。万一手配ができては船が欠航すれば手術もできなくなります。また以前は佐渡出身の医師が多くいましたが、現在は全国から島にきています。優秀な医師の確保には、定期的・安定的に島外との往来ができる環境が必要です。能登地震のときには、空港があつたために物資輸送ができたと思われました。空港ができることで観光面が潤うということのほか、市民が安心して暮らせる生活の確保も重要です。私たちは将来の佐渡市を担う若者のためにも、できる

だけのことをしなくてはならないと思います。皆さまのご協力をお願いします。

㉖ 佐渡病院の建設が始まったと聞く。どのような病院になるのか教えてください。

㉗ 佐渡病院の建設は、昨年11月から始まりました。建設場所は現在の金井小学校のあたりになるため、金井小学校を旧女子高校のところへ動かして建設します。建物は地上7階建てで、診療科目は22科、ベッド数は354床の予定です。また放射線治療も可能になります。従来新潟の病院に救急搬送が必要な患者は、佐渡空港からヘリで搬送していましたが、今回病院の屋上にヘリポートができますので、佐渡病院から直接搬送することが可能になります。さらに、県ではドクターヘリの導入も計画していますので、これらの連携も考えられ、病院としての機能が充実します。

㉘ 合併してよかったと言う集落はありますか。

㉙ 市民への説明不足を感じます。旧市町村会では物事の決定に大変だったけれど、佐渡市として思い切った対応ができるようになりました。例えば、佐渡病院の建設や、消防署の分遣署の整備・救急救命士の配置などは市になってできたことです。身近な問題では、携帯電話の不感地域解消もひとつの事例です。市民の皆さまの生活を守ることに力を入れていきたいと考えています。

㉚ 温泉施設を民間に譲渡しようとする動きがある。施設は市民の憩いの場であるので、続けてほしい。

㉛ 民間に施設を譲渡することで事務を進めています。施設運営はそのまま続けます。ただ運営をする主体が変わるということです。行政より民間のほうが、より良いサービスができると思われれます。運営は続けるが、経営者が変わるとお考えください。

### ○その他の質問事項

下水道計画／道路整備／国道バイパス／農業・畜産農家の経営／東部ほ場整備／防災無線、オフトーク通信／学校統合／携帯電話の不感地域／高齢者のバス／年金／道路のプランター／新エネルギー／トキ放鳥／山間地直接支払制度／スポーツ関係施設使用料／松ヶ崎トンネル／海水浴場／白雲台／小倉ダム／霊柩車／佐渡汽船／街路灯／地域の子算／トキのエサ／消防署／泉・中興の交差点／若者の就職対策、企業誘致／保育園／市立病院／文化会館／新潟交通バス／支所、行政サービスセンター／認証米／林道／おけさ柿／将来ビジョン／市役所組織の再編／ケーブルテレビ／棚田経営／山野草／エコポイント など

